

羽生市

# ぎかいだより



**「藍染議会」を開催**

(令和5年9月定例会市議会)



**羽生市議会出前講座を実施**

(令和5年10月27日・30日 羽生市立南中学校)

## 令和5年9月定例会

- 令和4年度決算を認定
- 附帯決議を可決
- 一般質問に12人が登壇

羽生市議会のホームページを開設しています。

羽生市議会

検索 

## 目次

- 市政に対する一般質問・・・2P～8P
- 議案に対する質疑・・・9P～10P
- 附帯決議・・・・・・・・・・・・10P
- 審議案件と結果・・・・・・・・11P
- 各常任委員会の経過・・・・・・・・12P

# 市政に対する 一般質問

## そこが… 聞きたい



※一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。  
掲載されている二次元コードから、当該議員の動画をご覧いただけます。

一般質問は、提出議案以外で市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に問うものです。  
今期定例会では、9月7日、8日、11日の3日間にわたり12人の議員によって行われました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



田中 たくし  
さとる 議員

### 市道脇の雑草・雑木等の管理は

・質問 市道脇に繁茂する雑草や雑木等について、個人では手に負えないケースがある。そこで、次の点について伺う。

- ①市で管理している道路の距離等について
- ②地先管理と市の管理を分ける基準について
- ③地権者（地先管理者）が不明の場合、管理できない場合の措置について

#### ・答弁（まちづくり部長）

- ①市道総延長約836キロメートルのうち、市が計画的に維持管理している距離は約32キロメートルで、総延長の3.8%である。また、除草等の業務委託を発注する費用は、年間約2,190万円で、歩



雑草を除去している様子

道などの植樹帯が歩行者の通行に妨げとなる箇所や、地先管理が出来ないような箇所を計画的に行なっている。このほかにも、職員等の直営により作業を行う場合もある。

道などの植樹帯が歩行者の通行に妨げとなる箇所や、地先管理が出来ないような箇所を計画的に行なっている。このほかにも、職員等の直営により作業を行う場合もある。

道などの植樹帯が歩行者の通行に妨げとなる箇所や、地先管理が出来ないような箇所を計画的に行なっている。このほかにも、職員等の直営により作業を行う場合もある。

道などの植樹帯が歩行者の通行に妨げとなる箇所や、地先管理が出来ないような箇所を計画的に行なっている。このほかにも、職員等の直営により作業を行う場合もある。

道などの植樹帯が歩行者の通行に妨げとなる箇所や、地先管理が出来ないような箇所を計画的に行なっている。このほかにも、職員等の直営により作業を行う場合もある。

道などの植樹帯が歩行者の通行に妨げとなる箇所や、地先管理が出来ないような箇所を計画的に行なっている。このほかにも、職員等の直営により作業を行う場合もある。

道などの植樹帯が歩行者の通行に妨げとなる箇所や、地先管理が出来ないような箇所を計画的に行なっている。このほかにも、職員等の直営により作業を行う場合もある。

#### その他の質問

・羽生警察署付近の道路冠水は

議会の詳細は  
市議会ホームページ  
をどうぞ

### 羽生市議会の ライブ中継と録画配信 をしています。

羽生市議会

検索



こちらの二次元コードからも  
アクセスできます。

「羽生市ぎかいだより」は、毎年4回開催される定例会ごとに発行しています。詳細にわたって内容をお知りになりたい方は、羽生市議会ホームページをご覧ください。  
羽生市議会ホームページでは、市議会の概要をはじめ、定例会や臨時会の本会議で行われた一般質問や議案質疑の内容、政務活動費の収支報告一覧などを公開しております。また、議会のインターネット中継もご覧いただけますので、是非ご利用ください。





齋藤 万紀子 議員



### 地産地消給食のさらなる 推進を

・**質問** 地産地消の給食の推進は、安全で美味しい給食の提供はもちろん、農家の販路獲得や地域の経済振興、またCO2の削減にも効果がある。そこで次の点について伺う。

③ 特別栽培米の提供

・**答弁** (学校教育部長)

① 現在の状況と今後の連携  
② 生産者へのアプローチ

① 学校給食における地産地消率は年々下がっており、令和4年度は16・9%であった。現在は、JAほくさい丸系八つ頭栽培組合をはじめとする複数の農業団体等と連携し、地場産食材の供給に努めている。

る。今後も、地場産食材を提供いただく場合の規格や量、品目、時期など、市と生産者が相互に情報共有をしながら連携を図っていききたいと考えている。  
② 学校給食への地場産食材の提供については、認定農業者連絡協議会だより等で周知を行なっている。今後は農政課と連携を図り、農業団体の会議の場等において、積極的にアプローチをしていきたいと考えている。  
③ 羽生市の学校給食の米飯



丸系八つ頭を使用した給食

は、羽生市産の彩のかがやきを100%使用している。米飯の提供は、埼玉県学校給食会に委託をされており、同会では安定的な米飯提供を行うため、地場産米の確保を1年単位で契約している。そのため、1日限りの羽生産特別栽培米を使用し、現在の契約上では困難と考える。しかし、学校給食に地場産食材を活用することは、地域の食文化や産業を理解するなどの教育上の効果がある。まずは、来年度以降、市内の全小学校5年生の家庭科において、羽生産特別栽培米を使用したご飯を炊く授業を実施していきたいと考えている。  
・**その他の質問**  
・いのちを守る断熱化の取り組みを



昆 佳子 議員



### 行政のデジタル化は

・**質問** デジタル庁が発足し政府は自治体業務のDX化を推進している。そこで、次の点について伺う。

① 「書かない窓口」の導入

② 羽生市公式LINEの活用

③ 市役所内のデジタル化

・**答弁** (企画財務部長)

① 「書かない窓口」は、手続

時間の短縮、窓口移動回数の削減といった効果がある。しかし、全国すべての自治体統一の動きである、令和7年度末までに基幹系業務システムの標準化に対応する大規模なシステム改修を控えていることから、「書かない窓口」を早期に導入することは、難し

いものと考えている。  
② 羽生市公式LINEの登録者数は、令和5年8月31日現在で2万844人である。市政やイベント情報などの適宜配信、新型コロナウイルスワ

**LINEの登録はこちら**

- 羽生市公式LINEアカウント
- 市内事業者向け公式LINEアカウント

クチン接種の予約やLINE Payによる市税等の納付にも活用している。また、LINE以外に、ユーチューブやインスタグラムなどのSNSを活用しているほか、子育てアプリなど新サービスの運用を進めていることから、LINEのその他サービスの導入は、現段階では予定をしていない。  
③ 主な取組としては、ペーパーレス化である。ペーパーレス会議システムを導入して試験運用を始めており、事務

効率化に一定の効果があると評価している。次に、パソコンの配備状況であるが、基幹システムなどを利用するため、業務用のパソコンを主体として、1人1台を配備している。また、インターネット系パソコンについては、部課長職に1台、各係に1台から2台程度配備している。  
デジタル化については、羽生市DX推進計画に基づき、限られた財源の中で、優先度の高いものから着実に進めていきたいと考えている。



小野田 和男 議員



### 水害時の高齢者等の要配慮者への避難対策は

・質問 近年、線状降水帯など想定外の水害が増えていて。そこで、次の点について伺う。

- ①災害備蓄品の備蓄基準及び要配慮者のための具体的な備蓄品について
- ②要配慮者への避難支援について

・答弁 (市民福祉部長)

①災害備蓄品は、地域防災計画に基づき順次備蓄している。品目は、主に食料と生活必需品とし、数量は、過去の被害事例等を踏まえた最悪の事態を想定し、被災人口3,655人分の備蓄を進めている。なお、食料は、避難住民

の3日分を県と市で1.5日分ずつ、災害救助従事者の6日分及び帰宅困難者の1日分を算定の基礎としている。また、要配慮者のための備蓄品として、アレルギー対応のアルファ米や大人用のおむつなども備蓄している。保存期限が間もなく切れる食料の処分については、小・中学校の給食や社会福祉協議会のフードバンクに提供し、廃棄しながら買い足すことを繰り返すローリングストックを行なっている。

②災害時に自力で避難することが難しい高齢者は、日頃から災害に対する、次の3つの備えが重要である。(1)平常時より自身や家族とマイタイムラインなどを活用し、災害時の行動を決めておくことが大切である。(2)避難行動要支援

者名簿の登録である。名簿登録者は、災害時における避難支援を行うための個別計画も策定している。(3)地域の避難訓練に参加するなどして、地域で助け合える環境づくりを平常時から心掛けておくことが必要である。  
災害時には、誰もが被災者となる可能性があり、まずは、自身と家族の安全の保障が優先となる。そのためにも、平時から災害に対する備え等をお願いしたいと考えている。



増田 敏雄 議員



### 東武鉄道南羽生駅ホームの屋根の延長を

・質問 次の点を伺う。

- ①地域住民から市への要望について
- ②市の東武鉄道への働きかけについて
- ③市や地域住民の負担による設置の可能性について

上化及び東口設置についての要望はあるが、駅ホームの屋根の延長については、記録に残っている範囲において地域住民からの要望はない。

②東武伊勢崎線の駅整備については、東武伊勢崎線輸送力増強推進協議会での陳情活動や、県を通じての鉄道要望に



南羽生駅

において、市の要望事項を伝えられている。南羽生駅については、駅橋上化及び東口設置を要望してきたが、ホームの屋根延

長については、要望事項には入っていない。

③他団体において、東武鉄道の駅ホームの屋根延長を要望している事例がある。東武鉄道はこの要望に対し、駅ホームの屋根は駅の乗降人員に応じ改札口や階段等の位置を考慮して設置しているといった内容の回答をしている。つまり、東武鉄道としては、今後駅利用者数が著しく増えるなどし、現在のホームの屋根では安全性や利便性に支障があると判断しない限りは、屋根

を延長する必要はないと考えているものと理解できる。したがって、現状においては、市あるいは地域住民による負担のいずれを行なったとしても、屋根の延長整備は難しいものと考えている。

今後の南羽生駅の要望については、当面は、駅橋上化及び、特に東口の設置に絞って、引き続き粘り強く交渉を続けていきたいと考えている。

#### その他の質問

・学校における「暑さ指数」の活用状況は



中島直樹 議員



### 市内小中学生の学校指定 された備品は

・質問 着用が義務付けられている中学生の自転車通学時のヘルメット。サイズが合っていない物を着用している生徒が見受けられる。小学校低学年の通学用ヘルメットも同様である。万が一の際、役に立たないことが考えられる。また、市内3中学校で同様の

ヘルメットに見えるが、購入先によって価格が異なっている。通う学校によって義務的な負担が異なることに違和感を覚える。この状況について、羽生市教育委員会の見解を伺う。

・答弁(学校教育部長) 初めに、中学生の通学用へ

ルメットは、3中学校において学校指定の通学用ヘルメットはなく、各家庭で用意することになっている。入学説明会時に中学校から保護者に対して、学校指定の通学用ヘルメットはないこと、どの販売店等で購入してもよいことについて説明があったが、十分に保護者に周知されなかった。そのため、サイズが合っていないまま、入学説明会時に通学用ヘルメットを購入した可能性がある。今後は、保護者に学校指定のヘルメッ



小学生のアジャスター付きヘルメット

トはないこと、どの販売店等でも購入してもよいことについて、十分に周知するよう学校を指導していきたいと考えている。

次に、羽生市が小学生の新しい入学児童へ贈呈している交通安全ヘルメットは、就学時健康診断の際に、保護者と学校が児童一人一人のサイズを確認している。令和5年度から贈呈しているヘルメットは、アジャスター機能がついていることから調整が可能となっている。また、サイズが合わなければ、サイズ交換の対応をしている。今後は、児童一人一人の頭のサイズに合っているかを確認するよう学校を指導していきたいと考えている。

・その他の質問 犯罪被害者等の支援は



川田真也 議員



### 井泉中央道路の整備を

・質問 次の点を伺う。

①井泉地区の長年の懸案事項である、通称井泉中央道路、市道0118号線の今後の整備計画について

②小学生の通学路としては、大変危険であるという認識について

③井泉自治会長連名で提出し

た要望書の受け止めについて

④市道0223号線との交差点を境にして南側の今後の改良工事の予定について

・答弁(まちづくり部長)

①平成15年度までに県道羽生外野栗橋線から南へ、有限会社藤井工業までの区間、約560メートルで工事が実施



今後の整備予定の井泉中央道路

された。その後、地元調整がなされ、整備済みの終点から南の約350メートルの工事を開始し、令和7年度から2か年程度での完成を予定して

いる。

②途中で歩道が途切れてしまふこと、また交通量に対して、道幅が狭いことにより、危険な通学路となっており、危険性が低い遠回りの道が通学路となっている。子どもたちに不便な思いをさせてしまっていることは認識している。

③現在、拡幅整備事業が進められている区間の南約400メートルの整備について、藤井下組と藤井上組の住民54名のほか、井泉地区全区域の自治会長及び前市議会議員から

要望をいただいている。地元としてまとまった強い要望であると捉えている。

④要望書では、用地買収せずに用地幅員を使用して、車両のすれ違いができるようにしてほしいとの内容になっている。既存用地内での道路拡幅では、歩道の整備は難しいが、路面標示などの交通安全施設等の設置により、できるだけ安全な通行ができるような整備を進める。時期は未定であるが、できるだけ早期の整備に努めていきたい。





西山 文由 議員



## 廃校となる小学校跡地の活用は

・質問 次の点を伺う。

①三田ヶ谷小学校、村君小学校は令和7年3月31日をもって廃校となることが予定されている。廃校になるまでの行政上の手順及びタイムスケジュールについて

②跡地利用の市の基本的な考え方について

③廃校となった後の避難所としての使用について

④グランピング施設の導入について

・答弁(企画財務部長)

①小中学校の名称及び位置は羽生市義務教育施設設置条例に規定されており、廃校となる学校の名称を外す改

正を行う。また、手続きについては、市長が市議会に条例改正を上程し、議決を求めることになっており、令和5年度中の上程を予定している。

②跡地利用の基本的な考え方は次の5つと考えている。(1)各種計画や重要施策など、本市のまちづくりの方針に沿った活用の検討(2)地域の意向を把握し配慮(3)民間事業者の活用を検討(4)財政健全化に資する跡地利用(5)市街化調整区域内の学校では、用途が限定されるため、活用を十分留意す



廃校予定の三田ヶ谷小学校

る。

③新たな施設利用がなされるまでは、指定避難所を継続していく予定である。将来、学

校跡地が利用できなくなった場合は、代替施設として新たな民間施設と協定書を締結するなどして、避難所として活用できる施設を検討していく。

④三田ヶ谷小学校跡地にグランピング施設を導入する際には、施設の内容や営業形態などの具体的な計画を都市計画法などの各種法令に適合させる必要がある。さらにグランピング施設導入後の周辺環境への影響にも配慮するとともに、周辺住民の協力、理解が必要であると考えている。



島村 勉 議員



## 指定管理者制度の運用は

・質問 羽生市では指定管理者制度を「産業文化ホール」「ワークヒルズ羽生」「もくせいの里」「斎場」「道の駅はにゅう」「体育館・中央公園」「キヤッセ羽生」の7施設で導入している。そこで、次の点を伺う。

①指定管理者制度を導入した

効果等について

②費用対効果に基づく指定管理者制度等の在り方の検討について

③今後、指定管理者制度導入の対象となる施設について

・答弁(企画財務部長)

①効果としては、民間のノウハウが発揮されることによる

経費削減と市民サービスの向上である。指定管理料では、市が直接運営した場合の運営見込額と比較して各施設とも



リニューアルした「キヤッセ羽生」

効果が出ている。また、市民サービスでは、市民ニーズにあわせた自主事業の実施、休館日の柔軟な対応、事業者による自主的な設備の充実などがあげられる。課題としては、更新により指定管理者が変わった場合にサービスの継続性に支障をきたす可能性があること、また、市における施設運営のノウハウが消えつつあり、直営に戻すときに市民サービスの維持に苦慮することが懸念される。

②指定管理料は、人件費や物

価の上昇に伴い増額していくことが見込まれる。市としては更新時期にあわせ、市が直営で行なった場合の経費と比較のうえ、市民サービスの維持・向上を考慮し、指定管理の継続等について判断している。今後、直営に戻すなどの対応も必要になってくるものと考えている。

③アウトソーシングは今後も推進していくこととしており、学童保育室や既に窓口業務委託を実施している図書館等が考えられる。



野中 一城 議員



### 認知症対策の推進を

・質問 令和5年6月14日に共生社会の実現を推進するための認知症基本法、いわゆる「認知症基本法」が成立した。羽生市が取り組んでいる支援策について、次の点を伺う。

①認知症に関する羽生市の現状について

②相談窓口の体制について

③認知症ケアパスの普及啓発・周知の状況について

④認知症基本法に基づく施策推進計画の策定等の見解について

・答弁 (市民福祉部長)

①日常生活に支障をきたす症状や行動があり、意思疎通の困難さが多少みられるが、誰

かが注意しなければ自立できない軽度の段階をランク2としており、ランク2以上の方が、令和5年8月現在、介護認定を受けている2,675名のうち、1,504名、56.2%となっている。高齢者の約9%に当たり、11人に1人が認知症の症状があると推測される。

②市の高齢介護課のほか市内3か所の地域包括支援センターが相談窓口になっている。過去3年間では、令和2年度86件、令和3年度82件、



羽生市認知症ケアパス(認知症ガイド)

令和4年度93件の相談を受けている。

③主に認知症の方やその家族が集う認知症カフェなどで配布している。なお、市のホームページにも掲載しており、ダウンロードすることもできる。

④認知症施策は単独で取り組むのではなく、介護保険事業や高齢者福祉事業など様々な施策と関連させ、包括的に進めるため、切り離せないものと考えている。現段階で施策推進計画を策定するのではなく、国の示す基本的施策に沿った市の施策を、現在策定中の第9期羽生市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に盛り込んでいきたいと考えている。



柳沢 暁 議員



### 生活困窮者世帯へのエアコン設置費用等の補助制度創設を

・質問 東京都23区では令和4年夏、屋内の熱中症死亡者194人中、165人、85.2%がエアコンを使用していない状態で熱中症となり死亡している。練馬区では、エアコンが自宅に1台もなく購入することが難しい世帯に10万円まで助成している。このこ

とについて、次の点を伺う。

①近年の熱中症の発生状況

②熱中症対策の取り組み

③エアコンの設置費用補助制度の見解

④電気代の補助制度の見解

⑤生活保護の夏季加算の見解、国への要望状況

・答弁 (市民福祉部長)

①羽生市では、令和4年度に熱中症で42名が救急搬送された。そのうち3名が生活保護受給者であった。

②現在、生活困窮者に限って

の対策はしていない。生活保護受給世帯に対しては、ケーシングによる家電や家庭訪問によって注意喚起し、健康被害の確認をしている。その結果、令和5年度での熱中症による救急搬送は出ていない状況である。

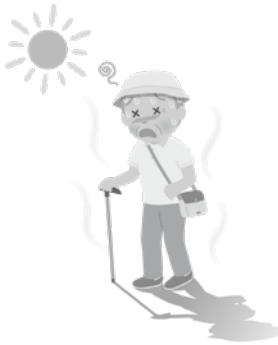
③社会福祉協議会の生活福祉資金の貸し付けを利用し、エアコンの購入が可能であるため、生活困窮世帯から相談があった場合には、貸付制度や生活保護制度の活用を勧めていきたいと考えている。

④今後の国の動向や近隣の先進地等の状況を注視しながら、必要な制度を適切に活用するなど補助の可能性について調査していきたい。

⑤夏季加算の創設は、国による生活保護実施要領の改正が必要である。市としても、近年全国的に猛暑日が続いていることに鑑み、令和6年度以降、改正についての意見を求められた際には、申し入れをしていきたいと考えている。

その他の質問

・ごどもひろばの充実を





丑久保 恒行 議員



子ども・子育て支援は

・質問 令和3年の合計特殊出生率は、全国が1・30、県が1・22、羽生市が0・98となっている。全国の出生者数は3年間で90万人台から80万人台へ減少、そして、令和4年には70万人台にさらに減少傾向をたどっている。そこで、次の点を伺う。

- ①出生数・合計特殊出生率の推移に対する見解について
②総合的な子ども・子育て支援策の反省・評価・課題について
③今後の子育て支援策について

・答弁 (市民福祉部長)

- ①市としては、出生数や合計特殊出生率の状況が国・県の平均を下回っている現状に鑑みると、国の加速化プランによる支援に応じ、これまで進めてきた子育て支援策を継続するとともに、国や県と一体となって取り組んでいくことが必要と考えている。
②主に次の3つの施策について



て、検討を重ねながら取り組んでいる。(1)子ども医療費制度では、令和5年4月から18歳まで対象者を拡大した。課題としては、過剰な医療受診の対策が必要と考えている。(2)令和5年7月に導入した子育てアプリでは、子育てに関する情報を一つにまとめることで、子育て支援の情報収集や予防接種等のスケジュール管理がスムーズにできるようになった。(3)学校給食では、9月、10月分の学校給食費を

無償化とする補正予算を盛り込んだ。交付金等による物価高騰対策など財源が確保できない場合には実施していきたいと考えている。

③児童福祉法の改正により、羽生市では令和6年度の組織改正にあわせて「子ども家庭センター」を設置するための準備を進めている。

・その他の質問
・消防行政の現状は

傍聴について

本会議は、市役所5階で受付をしていただければ、どなたでも傍聴(60席)できます。また、常任委員会の傍聴(6席)も実施しておりますので、開催日等をご確認のうえ、開会前にお越しください。詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。
会事務局にお問い合わせください。

12月定例市議会の日程案内

12月定例市議会は、左記のような日程で予定されています。

Table with columns: 月日, 曜日, 時刻, 内容. Rows include dates from 12/4 to 12/14 with details on meeting times and topics like 'General Questions' and 'Committee Meetings'.

※12月定例市議会の日程は、11月24日(金)に開催予定の議会運営委員会で決まりますので、変更になる場合もあります。

ポートルース戸田

羽生市を含む県内15市で構成する都市ポートルース企業団の収益金の一部は、毎年構成各市に交付され、市民の皆様の暮らしに役立っています。令和4年度は、6千万円の交付金がありました。

開催日

- 11月16日(木)〜21日(火)
11月26日(日)〜29日(水)
12月2日(土)〜5日(火)
12月10日(日)〜13日(水)

会場

- ポートルース戸田 (戸田競艇場)
都市: 埼玉県都市ポートルース 企業団主催
戸田: 戸田ポートルース企業団 主催



# 議案に対する質疑

「議案に対する質疑」は、議会に上程された議案について、質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするため議案の提出者に対し説明や考えを求めるものです。

今期定例会では、次の議員によって行われました。

○議案第34号 令和4年度羽生市一般会計歳入歳出決算

中島直樹 議員

実質単年度収支は市の財政状況を計る指標となるもの

・質疑 実質単年度収支がマイナスになった理由と今後の見込みについて

・答弁 (企画財務部長)

実質単年度収支がマイナス2億731万4,000円となった大きな要因は、令和3年度に実施した非課税世帯への支援等の新型コロナ関連対策事業について、国から交付された概算払い交付金を、令和4年度に約2億円、国へ返還したことによるものである。

今後の実質単年度収支を



見込むことは難しいが、ごみ処理施設の広域化や老朽化した公共施設の更新など、多額の経費を必要とする事業が控えていることから、引き続き厳しい状況であると想定している。しかし、極力マイナスにならないよう努めていきたい。

その他の質疑

・議案第41号

野中一城 議員

道路側溝清掃業務委託料は、羽生市浸水対策基本計画に基づき実施した側溝清掃に係る費用。

・質疑 側溝清掃を実施した箇所について

・答弁 (まちづくり部長)

道路冠水が頻繁にみられる箇所を優先的に実施している。令和4年度は、南7丁目、南8丁目地内で、756メートル実施した。

・質疑 選定理由について

・答弁 (まちづくり部長)

道路側溝は、雨水を円滑に下流の排水路や河川へ放流する役割を担っている。側溝の中に土砂が堆積すると、雨水の排水に支障をきたし本来の機能を発揮できず、大雨の際、道路冠水を早期に引き起こす原因になっている。道路冠水が頻繁にみられる箇所の被害軽減対策として、平成28年度から計画的な道路側溝の清掃業務を開始し、市役所周辺から順次清掃を実施している。

その他の質疑

・議案第41号

柳沢 暁 議員

ふるさと応援寄附金事業は、地域資源を生かした魅力的な返礼品のメニュー充実に努め、地域PRも兼ねた戦略的な情報発信を行い、ふるさと応援寄附を通じて羽生市のサポーターを増やし寄附額向上につなげるもの。

・質疑 ふるさと応援寄附の収支状況について

・答弁 (企画財務部長)

令和4年度のふるさと納税の寄附額は1億6,646万円、事業で生じた費用は8,455万3,956円であった。その差額8,190万6,044円が収入となる。

・質疑 ふるさと応援寄附の収支状況について

・答弁 (企画財務部長)

羽生市民が市外へふるさと納税をして、市外へ流出した市民税の額は8,863万8,999円であり、収支状況は673万2,955円のマイナスとなる。市民税の流出額については、その75%相当が交付税措置されるため6,647万9249円の収入が加算される。よって、5,974万6,294円のプラスとなっている。

その他の質疑

・議案第34号

○議案第41号 令和5年度羽生市一般会計補正予算(第5号)

昆佳子 議員

施設園芸パイオニア技術推進事業費補助金は、施設園芸における自動化及び省力化を図る機器の導入を支援するもの。

・質疑 施設園芸パイオニア技術推進事業費補助金の詳細について

・答弁 (経済環境部長)

施設園芸における栽培管理の自動化や省力化を図るため、スマート技術の導入拡大支援や、新たな課題に対応する機器等の導入を支援する補助金である。埼玉県の補助制度で、県が事業費の二分の一を補助し、残りを事業者が負担することになるものである。今回の補助対象は、市内でイチゴ栽培を行なっている農業法人が導入する自動フィルム包装機一台で、事業費は約250万円、補助額はその二分の一の125万円の予定である。

齋藤万紀子 議員

公立保育所再編事業は、第六保育所及び第七保育所の集約新設をするため、新築工事を行うもの。

・質疑 新築工事請負費5億6,000万円について

・答弁(市民福祉部長) 当初、公共施設総合管理計画の更新費用単価と他自治体が行なった保育施設の外構工事費用を参考に概算金額を3億円と試算した。今回、設計を進める中で機能的かつ安全に利用できる保育所とするため、建物内の間取りやバリアフリー化、出入り口部分の床ゴムチップ舗装など仕様に配慮した内容とした。建物はエアコン・床暖房の設置、窓の断熱、太陽光発電設備の設置、園庭及び駐車場は緑を多くし、快適で過ごしやすい環境となるよう計画したが、世界的な物価高が続いており、材料費や燃料費、人件費等を含めた建設費の高騰により工事費が大きく変動したものである。

その他の質疑

・議案第34号、第37号

教育委員会委員の任命に同意

高瀬賢一氏が9月30日をもって辞職するため、田村和代氏を新たに任命したいとして、市長から同意を求められました。市議会は採決の結果、賛成全員で同氏を適任と認め同意いたしました。

また、柿沼拓弥氏の任期が10月4日をもって満了となるため、引き続き同氏を任命したいとして、市長から同意を求められました。市議会は採決の結果、賛成多数で同氏を適任と認め同意いたしました。

藍染議会を開催

市議会では、9月定例会を「藍染議会」と命名し、15年目を迎えました。本会議に出席する議員と職員が初日及び最終日に「藍染シャツ」等を着用し、審議を行いました。(表紙に写真掲載)

請願を採択

今期定例会に「建設アスベスト被害の全面解決へ、アスベスト建材製造企業の基金拠出等」、「特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求める国への意見書を求める請願」が提出され、総務文教委員会において審査が行われました。

委員会審査において、採択すべきものとの結論に至りました。最終日に委員長報告を行い、採決の結果、採択と決しました。

この結果を受け、議員提出議案として「特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求める意見書が上程され、賛成多数で可決されました。市議会では、本意見書を衆参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣及び環境大臣に提出いたしました。

附帯決議を可決

議案第41号令和5年度羽生市一般会計補正予算(第5号)について賛成多数で可決されたのち、議員発議により次のとおり附帯決議が提出され、賛成全員で可決されました。提案の理由は、次のとおりです。

第六・第七保育所を集約し新設する公立保育所再編事業に関し、令和4年9月議会における新設保育所建物設計費の質疑において、新設保育所の建築費は約3億円との答弁があった。

しかし、今議会に上程された補正予算では、新設保育所新築工事請負費として、5億6,000万円が計上されており、昨今の社会情勢や物価高を踏まえても、1.8倍となった金額に問題があると言わざるを得ない。都市民生委員会での審査では、この補正予算に対しゼロベースでの修正案が提出されたが、子どもたちや地域に望まれた保育所であることや、さらなる物価高騰の懸念等か

ら、苦渋の決断として修正案は否決としたところである。市議会として補正予算に賛成し、再編事業を支援するた

めにも、次の事項に配慮することを強く求める。

一 新設保育所新築工事において、現在業務委託している実施設計を十分に精査・見直し、最終的に羽生市の財政状況に応じた設計とし、過度な設備を付帯しないこと

二 都市民生委員会では、設計、入札及び工事等を含め、新設保育所開園まで引き続き所管事務調査として取り扱う。よって、都度の状況・対応等について遅滞なく全員協議会又は都市民生委員会において報告すること

三 市内公立保育所の公平な環境整備に努めること

【附帯決議とは】

審議の対象となった事件の議決にあたって、その議決に付随的に付けられる意見や要望の決議。法律的な効果はなく、政治的に尊重されるべきものとされている。





# 各常任委員会の経過

## 総務文教

委員会に付託された案件は、議案3件でした。

議案第34号令和4年度羽生市一般会計歳入歳出決算の審査では、総務費において「ふるさと応援寄附金事業での羽生市の返礼品の還元率について伺う。」との質疑に対して「返礼品は寄附額の30%までという規制があり、どの自治体でも還元率は算出していない。インターネット上のふるさと納税サイトでの還元率等は、実際の販売額と比較したサイト独自の指標であり、自治体や関連事業者は、仕入れ等に関して、寄附額の30%までの規制を順守している。」との答弁がありました。



審査結果を報告する斎藤委員長

ことではないのか伺う。」との質疑に対して「当初は単独のごみ処理施設建設として、最低18億円の積立を目標としていた。その後に行田羽生資源環境組合での共同処理に移行したため、また、近年の物価高もあり、18億円に合うかどうかは不明である。年明け以降の工事発注で施設の仕様等が出てくれば、費用の詳細も明らかになると考えている。」との答弁がありました。

## 都市民生

委員会に付託された案件は、議案8件でした。

議案第34号令和4年度羽生市一般会計歳入歳出決算の審査では、総務費において「羽生市オリジナル婚姻届サイト掲載料について、費用対効果を考えると廃止を含めた見直しが必要と考えるが、見直しを伺いたい。」との質疑に対して「『デジタル情報誌『ゼクシィ』のサイトに掲載するもので、羽生市のPRになるものと考えている。しかし、年々ダウンロード件数は減少しており、費用対効果を考えると事業の終了を含めた見直しの検討が必要である。」との答弁がありました。



審査結果を報告する西山委員長

次に、議案第41号令和5年度羽生市一般会計補正予算第5号の審査では、民生費において「新設保育所の新築工事が当初見込額の約2倍の5億6,000万円であるが、適正な積算が行われたという認識か、伺いたい。」との質疑に対して、「工事費については、諸条件が重なったことにより増額となった。当初見込額に甘い部分があり、発注前には再度工事設計内容の精査を行い、適切な事業執行に努めた。」との答弁がありました。

委員会では、これらの審査の結果、付託議案8件はいずれも原案のとおり認定、可決すべきものと決しました。

なお、議案第41号については、公立保育所再編事業の建築費等について再検証が必要との修正案が委員から提出されましたが、修正案は賛成少数で否決されました。

### 9月定例市議会傍聴者数

8月29日	0人
9月6日	1人
7日	17人
8日	12人
11日	3人
25日	2人
計	35人でした。

### 常任委員会傍聴者数

9月12日	0人
13日	0人
14日	0人
計	0人でした。

### 《議会広報委員会》

- 委員長 松本敏夫
- 副委員長 中島直樹
- 委員 丑久保 恒行
- 委員 斎藤 万紀子
- 委員 西山 文由



ご意見などを  
議会広報委員会まで

☎048(561)1121  
(内線) 513